

## 総合能力が高い古性優作

大阪・関西万博協賛・京王閣競輪開設75周年記念「ゴールドカップレース」は、10月26日〜29日の日程で開催される。今シリーズは古性優作をはじめ眞杉匠、新山響平、松浦悠士、佐藤慎太郎のSS班5名が参戦する豪華メンバー。他にも平原康多、新田祐大のレジエンド、スピードスター犬伏湧也らがそろい、熾烈なV争いが繰り広げられる。また、最終日第6レースに於いて、ルーキーシリーズの成績上位者7名により「ルーキーシリーズプラス」が一発勝負で争われる。こちらも目が離せない。

最近ではオールラウンダーとしての精度を更に高めた感がある古性優作。獲得賞金ランキングは、第2位以下に7千万円ほど



古性優作

の差を付けてトップを快走している。直近4カ月は着外が僅か3回しかなく、3連対率は驚異の85%を誇っている。共同通信社杯は本調子と思えるような伸びではなかったものの、それでもオール2着の準Vと連を外さなかった。総合能力は輪界トップで、安定感の高さは際立っている。豪華メンバーの今シリーズの中でも、最も信頼できるとみだ。連係実績が豊富な南修二が古性とタッグを組む。ダービーの特別選抜予選、高松宮記念杯

大阪・関西万博協賛

### 京王閣競輪開設75周年記念

# ゴールドカップレースGⅢ

とりあえず全開でっ!!

いくぜっ! 京王閣!!

2024 10.26(土) 27(日) 28(月) 29(火)

東京オーバル京王閣



眞杉匠

の西一次予選1など、GIでもワンツーを決めている。大阪コンビでの連独占は有力だ。後半戦に入り、輝きを取り戻した眞杉匠の単にも食指が動く。練習中の落車で鎖骨を骨折し、前半戦はあまり振るわなかったが、サマーナイトと共同通信社杯で優勝。9月青森記念は3連勝で決勝に乗って、勢いは増すばかりだ。スピードの切れ味には素晴らしいものがあるし、ヨコの動きもかなりのレベル。好位置キープから自力を出してのVゲツトは大いにあろう。この大会は69、71周年を制している平原康多、小林泰正らが眞杉と関東ラインを形成する。

ラインの総合力なら北日本勢が一番だろう。新山響平、佐藤慎太郎のSS班に、ブランドスラマーで前年覇者でもある新田祐大、トラック短距離・ナショナルチームの小原佑太とタレントがそろっている。昨年に続き、今年もまだ優勝に手が届いていないのは不思議な新山ながら、オールスターの決勝は逃げて3着など、スケールの大きな先行で存在感を猛アピールしている。動ける選手がそろっているし、



新山響平

今年も落車負傷もあって、順調さを欠いている松浦悠士は、ここに来て徐々に調子を上げてきた。9月岐阜記念ではまくりを決めて優勝を手にとると、10月熊本記念は③①②着。決勝は深谷知の怒涛のまくりに屈し、2場所連続Vは逃がしたものの、連日の動きは上向きを感じさせた。何でもありの総力戦でVを目指すも、犬伏湧也との連係が叶うような前を任せよう。今年にはビッグレースでの優参はない犬伏だが、高松宮記念杯から共同通信社杯まで、4場所続けて準決にコマを進めているし、7月小松島記念を含め4Vを飾っている。仕掛けがツポにはまったときの破壊力には凄まじいものがあるの

で、一発には注意したい。山田庸平、伊藤颯馬、伊藤旭とそろった九州勢も侮れない。展開がもつれるようだと出番ありそう。

### ゴールドカップレース 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	115.00	S2	萩原孝之	静岡	80期	101.89	S2	小森貴大	福井	111期	101.10
SS	松浦悠士	広島	98期	115.35	S2	坂上樹大	石川	80期	97.96	S2	奥村論志	岡山	111期	98.21
SS	古性優作	大阪	100期	120.20	S2	中村良二	福岡	81期	99.76	S2	川口雄太	徳島	111期	102.58
SS	新山響平	青森	107期	114.79	S2	真崎新太郎	栃木	85期	95.22	S2	鶴良生	福岡	111期	93.42
SS	眞杉匠	栃木	113期	117.50	S2	原真司	岐阜	86期	97.70	S2	渋谷海	香川	113期	94.43
S1	内藤彦彦	秋田	67期	105.64	S2	金成和幸	福島	88期	97.68	S2	黒沢征治	埼玉	113期	105.18
S1	香川雄介	香川	76期	105.30	S2	鷲田佳史	福井	88期	101.03	S2	内山雅貴	静岡	113期	98.95
S1	渡部哲男	愛媛	84期	102.00	S2	大崎飛雄馬	愛媛	88期	96.81	S2	中益章成	大阪	113期	108.04
S1	村上博幸	京都	86期	111.67	S2	石塚孝幸	神奈川	89期	104.41	S2	上野優太	熊本	113期	101.95
S1	井上昌己	長崎	86期	108.72	S2	朝倉佳弘	東京	90期	100.54	S2	後藤悠	岩手	115期	97.86
S1	平原康多	埼玉	87期	113.19	S2	近藤隆司	千葉	90期	98.59	S2	朝倉智仁	茨城	115期	100.13
S1	南修二	大阪	88期	114.53	S2	田中晴基	千葉	90期	98.84	S2	小畑勝広	茨城	115期	102.43
S1	松坂洋平	神奈川	89期	107.27	S2	高橋雅之	千葉	90期	94.32	S2	鈴木薫	東京	115期	102.53
S1	新田祐大	福島	90期	113.48	S2	小菅誠	神奈川	90期	93.71	S2	寺沼拓摩	東京	115期	105.81
S1	木暮安由	群馬	92期	105.81	S2	山中貴雄	高知	90期	98.58	S2	齋木翔多	静岡	115期	101.19
S1	片岡迪之	岡山	93期	104.65	S2	吉松直人	高知	90期	97.76	S2	原井博斗	福岡	115期	104.41
S1	岩本俊介	千葉	94期	111.21	S2	原田泰志	新潟	91期	96.17	S2	松尾勇吾	熊本	115期	100.73
S1	山田庸平	佐賀	94期	109.90	S2	相川和也	愛知	91期	102.11	S2	宮大智	宮城	117期	95.05
S1	西村光太	三重	96期	105.79	S2	小林弘和	佐賀	91期	99.74	S2	仁藤秀	静岡	117期	99.33
S1	山形一気	徳島	96期	106.11	S2	森川大輔	岐阜	92期	102.63	S2	畝木聖	岡山	117期	98.32
S1	阿部力也	宮城	100期	107.81	S2	伊藤信	大阪	92期	99.80	S2	木村佑来	宮城	119期	101.88
S1	吉澤純平	茨城	101期	108.83	S2	武田憲祐	神奈川	93期	95.38	S2	木村皆斗	茨城	119期	100.00
S1	鈴木竜士	東京	107期	105.84	S2	小谷実	京都	93期	96.19	S2	林昌幸	愛媛	119期	99.14
S1	高橋築	東京	109期	107.81	S2	須永優太	福島	94期	104.17	S2	五十嵐綾	福島	121期	101.08
S1	田尾駿介	高知	111期	104.85	S2	志水祐彦	大阪	94期	94.19	S2	加藤将武	埼玉	121期	95.63
S1	小林泰正	群馬	113期	106.29	S2	渡辺正光	福島	95期	96.53	S2	安倍大成	埼玉	121期	96.87
S1	河合佑弥	東京	113期	102.48	S2	相川永伍	埼玉	95期	98.71	S2	滝本幸正	新潟	121期	100.38
S1	小原佑太	青森	115期	112.67	S2	田中勇二	岡山	95期	105.50	S2	真鍋頭汰	三重	121期	102.71
S1	藤井侑吾	愛知	115期	109.89	S2	佐藤博紀	岩手	96期	98.70	S2	梅崎隆介	長崎	121期	99.89
S1	脇本勇希	福井	115期	105.68	S2	竹村勇祐	秋田	96期	101.68	S2	西田優大	広島	123期	100.19
S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	111.44	S2	佐伯祐	福島	97期	99.50	競輪ルーキーシリーズ2024 プラス				
S1	久田裕也	徳島	117期	109.48	S2	柳詰正宏	福岡	97期	102.70	S2	森田一郎	埼玉	125期	86.57
S1	伊藤旭	熊本	117期	109.70	S2	泉慶輔	宮城	99期	100.57	A2	阿部英斗	福岡	125期	79.48
S1	松岡辰泰	熊本	117期	106.80	S2	保科千春	宮城	100期	98.55	A3	小堀敬太	北海道	125期	78.48
S1	吉田有希	茨城	119期	107.79	S2	津村流次郎	福岡	101期	96.56	A3	川上隆義	栃木	125期	78.33
S2	犬伏湧也	徳島	119期	112.14	S2	小酒大勇	宮崎	103期	97.61	A3	中島淳	埼玉	125期	77.44
S2	岩本和也	石川	76期	100.84	S2	谷口明正	三重	103期	94.62	A3	渡邊豊	新潟	125期	76.89
S2	石丸寛之	岡山	76期	98.39	S2	尾形鉄馬	宮城	107期	104.15	A3	野村賢	山口	125期	78.25
S2	佐藤真一	東京	79期	99.20	S2	末木浩二	山梨	109期	101.15					

#### 主力選手プロフィール

選手名	登録地	期別	競走得点	直近4ヶ月	前期得点	今期得点	BS HS 打5	レーティング	期待度
南修二	大阪	88期	114.53	114.66	114.66	114.53	①①①①①①	6.40	☆☆☆☆
村上博幸	大阪	86期	111.67	110.59	114.98	113.19	①①①①①①	6.00	☆☆☆☆
平原康多	大阪	87期	113.19	114.98	113.19	113.19	①①①①①①	6.00	☆☆☆☆
新田祐大	福島	90期	113.48	117.09	119.32	115.35	①①①①①①	6.67	☆☆☆☆
松浦悠士	広島	98期	115.35	117.09	119.32	120.20	①①①①①①	7.00	☆☆☆☆
古性優作	大阪	100期	120.20	114.51	117.50	115.00	①①①①①①	8.20	☆☆☆☆
眞杉匠	栃木	113期	117.50	114.10	114.79	114.79	①①①①①①	7.00	☆☆☆☆
佐藤慎太郎	福島	78期	115.00	113.70	114.79	114.79	①①①①①①	6.60	☆☆☆☆
新山響平	青森	107期	114.79	113.70	114.79	114.79	①①①①①①	6.60	☆☆☆☆

※2024年10月15日時点

※2024年10月15日現在



### 中釜 章成 (大阪/113期)

昨年のこの大会では、準決で北井佑の逃げをまくって勝ち星をゲットするヒットを飛ばした。8月川崎から9月富山まで、F1戦ながら準決で3連勝していて最近の調子もいい。一発の魅力を秘めている。



### 高橋 築 (東京/109期)

最近あまり自力を出していないが、8月岸和田で3連勝すると、9月立川は①②①着など、伸びは申し分ない。9月佐世保での落車は気になるが、雨走路だったので、大事には至っていないか。



### 西田 優大 (広島/123期)

8月当所で特進したばかりだが、先行力はS級で通用している。9月は向日町記念で準決にコマを進めると、福井1②④着、四日市1②②着と連対ラッシュだ。先行力を発揮しての大暴れが期待できる。

## 競輪ルーキーシリーズ 2024 プラス

# S級戦士の森田一郎が主役



森田 一郎

10月西武園で125期の先頭を切ってS級特進を果たした森田一郎の一挙手一投足に注目が集まる。ルーキーシリーズでは初戦の5月平塚で完全優勝して以降は優勝できなかったものの、本格デビューすると無敵の快進撃。初戦の7月大宮の決勝で岡部陸の2着に敗れた以外は勝ちっぱなしで、1・2班戦は負けなしで卒業してみせた。ナショナルチームの一員としてスピードはすでにS級でも通用するレベル。ルーキーシリーズでも連係した同県の中島淳がいてラインもできそうだし、唯一人のS級戦士として主役に相応しい走りを見せる。チャレンジでまだVがない中島だが、前記の平塚の決勝では森田の上がり10秒台のまくり引き離されながらも2着を確保。ここはどこまで食い下がれるか。

森田とともにナショナルチーム強化指定Bに指定されている阿部英斗が一番のライバルだ。森田には遅れを取ったものの10月別府M

主力選手プロフィール							直近4ヶ月	
選手名	所属	期	期	期	期	期	前期得点	今期得点
野村 賢	山口	125期 A3	78.25	75.33	78.25	8.00	80.00	86.57
渡邊 豊	新潟	125期 A3	76.89	76.89	76.89	6.80	79.00	86.57
中島 淳	埼玉	125期 A3	77.44	77.44	77.44	7.78	86.57	86.57
川上 隆義	熊本	125期 A3	78.33	77.67	78.33	7.17	86.57	86.57
小堀 敢太	北海道	125期 A3	78.48	78.33	78.48	8.22	86.57	86.57
阿部 英斗	福岡	125期 A2	79.48	79.00	79.48	8.50	86.57	86.57
森田 一郎	熊本	125期 S2	86.57	80.00	86.57	8.50	86.57	86.57

  

選手能力値							直近12場所成績	
機動力	ダッシュ	差し脚	デンジャラー	実績	ポテンシャル	※2024年10月15日時点	賞金	戦法
83	88	25	0	0	87	36	456万	逃捲
66	86	35	26	0	90	40	362万	逃捲
81	83	28	0	0	73	7	487万	逃捲
78	92	40	0	0	86	7	469万	逃捲
89	95	27	13	0	88	5	557万	逃捲
59	70	8	18	0	14	7	477万	逃捲
67	90	3	13	0	16	5	609万	逃捲



阿部 英斗

Nで特進してチャレンジを卒業し、これから1・2班戦でのレースが始まる。特進を決めた3場所は快速まくりで弓矢輪、小田恭、久田翔を次々と下しており、単騎戦でも組み立て次第で森田と好勝負可能だろう。

チャレンジでの優勝が1回だけとまだまだレース運びには課題が残るが、爆発的なタテ攻撃が魅力的なのが小堀敢太だ。8月当所M Nでは1①②着と決勝は森田の上がり10秒8のまくり屈したものの、連日逃げて11秒前半の上がりタイムも叩き出すなどレース内容は秀逸だった。力出し切れれば怖い。

5月函館ルーキーシリーズでは森田を先頭に、渡邊豊―川上隆義で連係し、3番手から川上が伸びて優勝したが、今回は勝ってナンボの一発勝負。川上も渡邊も埼玉勢とは別競走だろう。ダッシュ自慢の川上はチャレンジ2V、落車が多いが渡邊も2Vと実力を示しているモツれば単騎でも出番ある。

在所8位の野村賢は未だ優勝がないのが不思議なほど安定感が高い。伏兵で警戒。